

Akashi College		Year	2018		Course Title	建築計画Ⅲ	
Course Information							
Course Code	0081			Course Category	Specialized / Compulsory		
Class Format	Seminar			Credits	School Credit: 1		
Department	Architecture			Student Grade	4th		
Term	First Semester			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	現代建築学 新訂 建築計画2						
Instructor	OTSUKA Takehiko						
Course Objectives							
1)建築物の寿命はどのように捉えられるか理解し、建築空間の長寿命化のための計画手法を説明できる。 2)計画・設計プロセスの諸段階を知り、設計を進めていく上で必要な基本的な平面型の知識、全体計画のまとめ方等々を理解している。 3)地域の問題の住民による自主的解決に関連して建築協定の意義を理解している。 4)人間性豊かな住空間を創造するため、人間学的視点の必要性や、高齢者施設の設立目標などを理解している。							
Rubric							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	住宅の設計手法について的確に説明できる。		住宅の設計手法について説明できる。		住宅の設計手法について説明できない。		
評価項目2	計画・設計の方法などについて的確に説明できる。		計画・設計の方法などについて説明できる。		計画・設計の方法などについて説明できない。		
評価項目3	建築協定について的確に説明できる。		建築協定について説明できる。		建築協定について説明できない。		
評価項目4	建築設計において総合的、人間学的視点が必要であることを具体的に理解できる。		建築設計において総合的、人間学的視点が必要であることを理解できる。		建築設計において総合的、人間学的視点が必要であることを理解できない。		
Assigned Department Objectives							
学習・教育到達度目標 (D) 学習・教育到達度目標 (E) 学習・教育到達度目標 (H)							
Teaching Method							
Outline	建築は人間の生活を支える器であり、生活を左右するが、建築計画学は生活を豊かにする力を科学的に認識し、理論化する学問である。本講義はそうした視点から計画課題の明確化、設計の進め方について講義する。						
Style	講義。全講義のうち2回は建築設計の第一線で活躍する建築家が建築設計業務の実際について講義する。						
Notice	建築には、例えば、様々な人々の生活パターンに対応する多様性、機能と空間構成の関係、機能内容の時代的变化、等々の多くの側面がある。建築の計画・設計について考えるときは諸側面を総合的に捉えるように心がけること。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課						
Course Plan							
			Theme	Goals			
1st Semester	1st Quarter	1st	授業の進め方 授業の進め方および建築計画学を勉強する上でのポイントの説明。				
		2nd	フレキシビリティとエキスパンシビリティ	建築空間に対する利用者の要求は年月とともに変化してゆく。それに対応しうる計画手法を解説。			
		3rd	建築寿命のとらえかた	建築物の寿命といっても多様な捉え方がある。どのような寿命の概念があるのかを概説する。			
		4th	住宅の設計 1	戦災復興からモダンリビングまで概説する			
		5th	住宅の設計手法 2	住生活におけるnLDK論や寝食分離について理解する			
		6th	住宅・住生活の多様化の進展	ニュータウンから高層居住の普及、住宅住生活の多様化			
		7th	低層集合住宅の計画	集住のなわばり学について。			
		8th	計画段階と設計段階	建築設計に先立って企画・計画段階がある。この段階と設計段階を比較し、各々の内容を説明する。			
	2nd Quarter	9th	建築協定の意義	住民による積極的なまちづくりや、地域の問題の住民間の自主的解決といったことに関連する建築協定について解説。			
		10th	空間認知	人間が無意識に創り出し、かつ必要としている空間とはどのようなものか、心理学的、人間学的視点から解説			
		11th	バリアフリー住宅の設計論	高齢者・障害者のバリアフリー住宅の設計について概説する。			
		12th	福祉施設	高齢者福祉施設について。グループホーム、小規模多機能福祉拠点について。			
		13th	複合建築 1	基本事項、建築計画、実例。複合施設の問題点について。			
		14th	複合建築 2	建築の複合化 シェア空間の設計手法について学ぶ			
		15th	補足授業	前期の授業の補足、復習、質問等。			
		16th	期末試験				
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	レポート	レジュメ	Total
Subtotal	50	0	0	0	25	25	100
基礎的能力	50	0	0	0	25	25	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---